

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1990. 8. 37号



開会式で献燈をする仏社会員

「御同朋の社会をめぐって」の講題で基調講演を頂き、引き続き基推委研修指導員部会の鷲尾衛鳳師より十一月七日の兵庫教区御同朋総結集大会の要項、プログラムを含め、御同朋総結集へむけてのお話を頂いた。毎回のブロックにおいても車座になって先に聞いた基調講演の問題点などを中心に話し合いをして代表者が発表をすることとしており、今回は三班に分かれて

「臆」◆約二年前、朝日新聞に「住井さん」は「世界には人種、民族、家柄の三つの差別がある。皇室の家柄や血筋が尊いというのは迷信だ。生まれてくる子供がみんな平等なのは、産む立場の女がいちばんよく知っている。天皇制があるから、未解放部落も残っている」と訴えた。事を思い出した◆諸橋辞典に「同朋」とは友人、朋友と共に「力者」とある◆「興かく僧達・力者法師 高位をもてなす名としたり」この和讃の後に「この世の本寺・本山のいみじき僧とまをすも法師とまをすもうきことなり」を拝読。興に乗る僧と担ぐ力者とが宗門に、私の心の内に、ないかと内省する◆親鸞聖人はカリスマ性、権力者に対しては毅然とされたいと思う。勿論家柄、血脈よりも法脈を重んじられたであろう。この心を生かす事が「真の浄土真宗」になると思う。寺班僧侶階等はある。(清水 勤)

六月から九月にかけて兵庫教区内をブロック別に分け寺婦、仏婦、仏壮、総代の順で研修会が各地で開催中であります。去る七月十五日には最初の兵庫教区仏壮連盟ブロック

ク研修会が、東播地区九十二か寺の仏壮を対象に播磨東組西入寺(木南昭隆住職)で百十人が参加し開催された。仏壮の場合は基本プログラムは午前十時半からとされていますが、ブロックによ

つては午後からでも約五時間の研修プログラムを組むことにしている。当日はうだるような暑さの中、神戸から三木へ向かう神戸電鉄粟生線の志染駅に近づくから西入寺に入る辻には式章をつけた仏社会員が正午過ぎから誘導を続けてくれました。

受付は午後一時半から二時から開会式があり二時半からは東海教区から桑名市に自坊のある藤野堯師に

仏壮東播研修で厳しい意見

「結集大会を日曜に」

教区だより		8月
7月30日(月)～8月1日(水)	少年連盟サマースクール	淡路組萬行寺
8月1日(水)	モダン寺暁天講座「信心をいただくとは」 足利孝之師(阪神東組安養寺) 7時 晨朝に引き続き	
2日(木)	暁天講座「如来さまのはたらき」佐々木大観師 (宍粟組西願寺)	
3日(金)	暁天講座「かがやいて生きる」藤田真哲師 (神明組慈照寺)	
4日(土)	第一土曜仏教講座「絶望のない人生」清胤徹昭師 (安芸教区) 1時半	
4日(土)～5日(日)	真宗青年の集い京都大会 京都女子学園・東急ホテル	
5日(日)	仏壮ブロック 太田唯念師(播磨中組西念寺) 別院10時半	
7日(火)	結集大会庶務部会 10時半	
7日(火)～8日(水)	中部近畿ブロック若手布教使研修 神戸タワーサイドホテル	
11日(日)～15日(木)	神戸別院お盆参り	
16日(金)～20日(月)	教務所・別院職員夏期休暇	
21日(火)	総代ブロック 久堀弘義師(神戸湊組行願寺)	水上東組本明寺
22日(水)	総代ブロック 久堀弘義師	本願寺豊岡教室
25日(土)	東西保育研修会 慈愛保育園(阪神南組正光寺) 10時	
31日(金)	企画推進室会議 10時半	
9月5日(水)～7日(金)	仏婦連盟委員研修旅行	関東二十四輩
9日(日)	仏壮ブロック 富永真哉師(佐用組浄宗寺) 多紀組尊宝寺	
10日(月)	総代ブロック 西脇正文師(揖尾西組超念寺) 神戸別院	
11日(火)	総代ブロック 西脇正文師	淡路西組本徳寺
12日(水)	総代ブロック 久堀弘義師	多可組浄福寺
14日(金)	総代ブロック 西脇正文師	岡山南組正善寺
15日(土)	仏壮ブロック 暇丘大愚師(滋賀教区)	岡山

兵庫教区御同朋総結集大会プログラム決まる

兵庫教区御同朋総結集大会

参加案内も配布

参加ご案内

浄土真宗本願寺派 兵庫教区

お問合わせ先

◆大会会場
神戸ポートアイランドホール
神戸市中央区磯山通4-12-2
☎(078)302-4055
—大会前日、当日—

◆研修会場
兵庫教区御同朋総結集大会実行委員会
神戸市中央区下山手通8-1-1
本願寺神戸別院内
☎(078)341-5949

◆交通案内
◆三宮駅(山手線)から神戸方面へは
ポートライナー(JR西線)下車徒歩10分。
◆新開駅(有明線)から神戸方面へは
ポートライナー(西線)下車徒歩15分。
◆交通案内は必ずご確認ください。ご不明な点は
お問い合わせください。

来る十一月七日水曜日、神戸ポートアイランドホールで兵庫教区御同朋総結集大会が御同朋の総結集をはかり、もって門信徒会運動、同朋運動を推進することを目的に「御同朋の社会をめぐって」のテーマで、開催される。

「私たちはお念仏をいのちとしてともに生きる御同朋です。私たちがその喜びからつねにご報謝の日暮らしと互いにたすけあい差別を克服し平和を願う念仏者です。このたび開かれる兵庫教区御同朋総結集大会は浄土真宗の門信徒一同が集い御同朋の社会をめぐって力強い第一歩をふみ出す大会です。あなたも是非参加下さい。心よりお待ちしています。」との思いを大会の願いとして参加案内されました。

参加人数は七千人。参加費は資料、記念誌、記念品、昼食を含んで一人三千円。当日の大会プログラムは次のとおり。

◆九時半受付◆十時半開会式◆十一時ご法話、久堀弘義師(神戸湊組行願寺)◆

生前のご苦労を偲び 謹んで敬弔の意を表します(敬称略)

六栗組正福寺副住職 松田なつ子 6月29日 79才

「圓正院釋祥代」 西田 秀道 7月23日 81才

北摂組蓮照寺住職

〔浄教院釋秀道〕

寺報から

境内の清掃を

八月十二日(日)

午前八時より境内の清掃と、盆踊り会場周辺の後片付け、清掃を行います。

私達のお寺を、報謝の気持ちできれいにしましょう。(三十分でも結構です。是非一緒に快い汗を！)

編集後記から

今年からは、年四回発行

先月号といっしょに発行しました「お盆号」の残部がまだありますので、ご利用の方は教務所までお申し込み下さい。

料金は一部十五円で百部以上は題字の横に寺号を印刷します。(事務局)

「ご門徒に『法』を配って下さい」

春彼岸号に引き続きお盆号も好評を博し多数のお寺でご門徒向けの文書伝道として配っていただいております。

先月号から、指名制の投稿も計画しておりますので、運良く当たった方は、御協力をよろしく願います。

(網干組政源寺 仏社会報16号より)



基幹運動とは「本願寺教団が真なる運動」と読んだ。

「臆」◆約二年前、朝日新聞に「住井さん」は「世界には人種、民族、家柄の三つの差別がある。皇室の家柄や血筋が尊いというのは迷信だ。生まれてくる子供がみんな平等なのは、産む立場の女がいちばんよく知っている。天皇制があるから、未解放部落も残っている」と訴えた。事を思い出した◆諸橋辞典に「同朋」とは友人、朋友と共に「力者」とある◆「興かく僧達・力者法師 高位をもてなす名としたり」この和讃の後に「この世の本寺・本山のいみじき僧とまをすも法師とまをすもうきことなり」を拝読。興に乗る僧と担ぐ力者とが宗門に、私の心の内に、ないかと内省する◆親鸞聖人はカリスマ性、権力者に対しては毅然とされたいと思う。勿論家柄、血脈よりも法脈を重んじられたであろう。この心を生かす事が「真の浄土真宗」になると思う。寺班僧侶階等はある。(清水 勤)

石山本願寺と播州門徒

大阪教大の木村壽先生が講演

去る七月十一日に例年の組長・副組長・相談員・基推委合同会議が東播ブロックのお世話で加西市にある「いこいの村はりま」において開催された。

「年に一度のこの合同会議は回を重ねるごとに、参加者が多く盛会となっております」と山本宣昭組長会長が挨拶された通り九十三人が参加された。

午後一時から始まり研修会、事務連絡、協議等があり午後六時から和やかに懇親会がもたれ翌日、朝食の後散会した。

頭如上人の法要を来年に控えて研修会は上人と石山合戦について大阪教育大学助教授で日本史を研究されている木村壽先生より講演を受けた。

各地を転々と

来年はちょうど天正十九年（1591）京都堀川に寺基が移されて四百年と、また翌文禄元年に五十才で

亡くなられた頭如上人の法要があります。本願寺ほど各地を転々とした歴史を持つている大寺院はほかにないでしょう。寺基移転を考えることが、本願寺教団の存在そのもの、としてまた個人として揺れ動かざるを得なかった時期であり、それゆえ石山から紀州鷲森、和泉貝塚、大阪天満と寺基を移転することともなっていたと言えるでしょう。

信長との十年

頭如上人の生まれた天文年間種子島にポルトガルより鉄砲が伝来しました。またたくまに大名がござって取り入れ、今までの戦いが一変していったのです。本願寺も今までのような

平和的に大名との関わりがもてなくなりまして。たとえば、石山に寺基が移ったのも細川晴元らに山科本願寺が焼き打ちにされた為であったし、後には和睦したのが、頭如上人の妻はその細川晴元の養女で転法輪三条



講演する木村壽師

瀬戸内の要所

この時期の主な戦国大名は越後の上杉、甲斐の武田、相模の北条、越前の朝倉、

近江の浅井・六角、四国の三好、中国の毛利、そして三河の徳川、尾張の織田であります。その中で織田信長が天下を取るには本願寺の存在が大きな障害となり、色々な難問をふきかけ石山戦争となっていく。

元亀元年（1570）九月十二日、織田信長は摂津のエビエ（大阪市内）に奉じた將軍足利義昭と共に陣を定め、野田と福島にいた三好三人衆に対して激しい攻撃を開始した。

それを目前にした本願寺は信長との戦いについて決意し、十二日の夜半、本願寺を中心とした寺内町の鐘を合図に織田にこちらから攻撃をしかけ、天正八年にわたる信長との十年戦争、石山戦争がはじまったのです。（中略）

石山に大阪湾から兵糧米を運んでいた毛利水軍が天正六年六月に信長の水軍に敗れてから石山籠城は困難となっていく。その後、重要となってくるのが西国です。

英賀城の三木通元、別所氏、荒木氏など頭如上人が最後に頼りとしていた者たちも秀吉の攻撃を受け、石山を支えた最後の勢力もことごとく負けを喫し、その結果天正八年三月頭如上人は朝廷を仲立ちとした和解を受入れ、石山を開城し戦争を集結したのです。

質疑応答から

（Q）戦争に際して、信長の要求の一つに石山の土地を譲れ、空け渡せ、ここは天下統一の最良の土地であると我々は聞いて来たのですが、資料としてはどうでしょうか。又、英賀御坊を中心とした英賀門徒に檄

文のようなものが資料としてあるのか。

（A）お二人の質問は基本資料の問題かと思えますが、信長が寺基を空け渡せと要求したと考えられます。確かな文獻は私は見えておりませんし、どこにも記載されておりません。石山についての文獻は多いのですが、特にその中でも信憑性が高いと言われる

「信長後記」でさえ疑わしく、紹介頂きました資料についても慎重に検討する必要がありますと答えられます。

は籠城を続けられるわけですが、信長との誓詞の中では益までとなっていました。その期限より早々に三月退去されました。教如上人が退去された後のことですが、紀州の方ではまだ抵抗を続けていたご門徒もあるようです。兵庫や岡山のご門徒にもあるのか。

（A）その後、教如上人

HO日記

相次いで組総結集大会

◆6月25日 六粟郡一宮町の特別養護老人ホームまどか園の施設物故者追悼法要に教務所長出席 ◆26日 教区寺族婦人ブロック研修会を姫路中組光源寺で（東播・姫路・西播・岡山）講師は太田唯念師、参加者百四十九人 ◆27日 寺婦ブロック研修会を出石組福成寺（但馬）講師は和田智浄師参加者三十八人 ◆28日 近畿教

◆7月1日 教区仏青委員会 ◆阪神・神戸ブロック仏連連絡協議を別院で。八月五日別院での研修会の準備と当日の役配など ◆3、4日 第三ブロック布教使研修会を奈良市内の桃山荘。兵庫からは団長他十三人、一日目は杉本昭典師（北摂組光澤寺）が基幹運動研修との講座で話され、二日目は現生正定聚の意義について大峯顕師（大阪教区）などがあつた ◆4日 八月二十五日に開催される東西真宗保育の会場となる阪神南組正光寺の慈愛保育園で下見打ち合わせ ◆5日 兵庫教区仏婦人ブロック研修会を姫路西組本徳寺で（東播・姫路）講師は真敷祐弘師、参加者六百四十五人 ◆

5日 7日 第三連区基幹運動推進組長研修会を岐阜別院で。教区からは三十組の組長が参加し運動推進体制や四百年の法要を控えての問題点など協議 ◆社推協中央研修協議会を本山で。各教区の担当専従が参加 ◆6日 仏婦ブロック研修会（西播）姫路西組本徳寺。講師は直海玄洋師、参加八百人 ◆7日 播磨東組結集大会を大和殿ホール、教務所長祝辞 ◆佐用組結集大会を法覚寺。所長祝辞 ◆別院若婦学習会。正信偈を勉強しています。今回は光明のはたらきと往生の因と果「おかげで勉強嫌いの私も聖典を開く回数が多くなりました」と担当職員「でも相手にわかってもらって

るかは別問題？」と他の職員 ◆第一土曜仏教講座。講師は直海玄洋師「吹田市にある自坊の檀家のおおあちやん、昔からの旧家で大きな屋敷に一人すんでおられますが、立派な息子さんも三人おられる、でも一人は先生のみじかな話からお金中心の社会であればあるほど、益々まとめられない物が出てくるのではと

◆8日 淡路組結集大会を洲本市勤労センターピパホール。所長祝辞 ◆加古川組結集大会を大和殿ロイヤルパレス加古川。所長祝辞 ◆岡山北組結集大会を津山社会福祉会館 ◆9日 少年サマースクールスタッフ会

◆10日 仏婦ブロック研修会（阪神）阪神西組西福寺。講師は法正良映師、参加二百十五人。 ◆11日 12日 組長・副組長・相談員・基推委合同会議 ◆12日 仏婦ブロック研修会（岡山）岡山北組浄円寺。講師は直海玄洋師、参加百一人 ◆13日 仏婦ブロック（神戸）神戸別院。直海玄洋師、参加二百六十三人 ◆教区会計監査会議 ◆14日 神戸湊組結集大会を顕證寺。所長祝辞 ◆14日 16日 別院常例。講師は辻季彦師（揖電西組専龍寺）「じっくり聞かして頂きました」とお同行 ◆15日 仏壮ブロック（東播）播磨東組西入寺。講師は藤野堯師。参加百十人 ◆18日 結集大会に使用するご門主のビデオ撮影に教務所長や西脇実行委員長、関係者など本山で